

仏教文化研修旅行（国内）の報告 飛鳥・斑鳩・奈良をめぐる仏教文化研修

『地域仏教研究（国内）』は、フィールドワークを兼ねた実地の研修と、教室での学習を平行して行うことによって、日本における仏教文化の多様性について体験し、理解を深めることを目的とします。これまで京都・奈良・鎌倉・東京・伊豆・佐渡の寺社・遺跡・美術館・博物館などを訪ねてきました。

平成23年度は、仏教伝来の地である飛鳥、聖徳太子と縁の深い斑鳩、国家仏教の中心地として展開した奈良市を研修地としました。飛鳥では日本最古の仏像を奉る飛鳥寺（安居院）、聖徳太子生誕の地に太子自らが建立したとされる橘寺など、斑鳩では聖徳太子が建立し世界最古の木造建築が残る法隆寺、聖徳太子の母親である穴穂部間人皇后の願いによって建立された中宮寺、飛鳥時代に建立された現存する日本最古の三重塔がのこる法起寺など、奈良市では天武天皇の発願で持統天皇によって開眼された薬師如来を奉る薬師寺、日本で正式な僧侶を養成するために招かれた鑑真和上が建立した唐招提寺、聖徳太子の創建で南都七大寺のひとつである大安寺、聖武天皇の勅願により建立されたと伝えられる靈山寺など、2泊3日の行程で13ヶ寺を巡る充実した研修でした。

日本に仏教が伝来して定着を果たした過程を、現地に赴き学習することによって、日本人の思想・行動・文化に多大な影響を与えてきた日本仏教の思想・歴史・芸術、あるいはそこに息づく人々の信仰について、参加者の理解が深まったことでしょう。



法隆寺中門

特色ある教育トピックス

立正大学仏教学部で学びませんか？ —今後の日程—

- ◎科目等履修生制度 —募集要項配布中— 僧階講座などを聴講する制度で、単位を取得できます
受講説明会：大崎キャンパス：平成24年3月24日（土）午後2時より 1151教室（11号館5階）
受講申込み受付期間：平成24年3月26日～平成24年3月29日を予定
- ◎社会人オープン講座 —募集要項配布中— 単位認定はありませんが、学部より修了証が交付されます
出願期間：3月26日（月）まで〔土・日・祝日を除く〕
※科目によっては、4月以降受け付ける場合もありますので、お問合せください。
提出書類：a. 社会人オープン講座受講志願票・誓約書（本学部所定のもの） b. 写真（4×3cm 上半身）1枚
申込場所：立正大学仏教学部事務室 社会人オープン講座係
面接選考：平成24年3月30日（金）午後6時 立正大学大崎校舎9号館地下1階 9B11教室
◆平成24年度開設科目：インド仏教史、東洋思想史、日本仏教史、仏教学概論、法華経概論、天台学概論、日蓮聖人伝研究、立正安国論講義、開目抄講義、観心本尊抄講義、宗学概論、宗史概論、宗学史概論、仏教デス・エデュケーション（第2期）、芸術実習ⅠB（仏像の鑑賞と実践）、インド哲学仏教学特講Ⅰ、比較思想概論、総合科目（美術）〈教養的科目〉、仏教学A〈教養的科目〉
◆特別開設科目：「地域仏教研究（三）C（国外研修）」、「地域仏教研究（四）C（国内研修）」
※国内外の仏教遺跡・史跡を巡ります。申込多数の場合は抽選となります。
- ◎ミニオープンキャンパス 受験生のための学内見学会
大崎校舎（全学部）：3月18日（日）10：00～16：00
※学部ごとに展示ブースを設けています。奮ってご参加下さい。

*東日本大震災で被害に遭われた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。
立正大学では、被災された新入生・在学生に対し、入学金・授業料の減免・延納や特別休学等の支援措置を講じています。詳しくは、大学ホームページの「東日本大震災に関する対応〔最新情報〕」<http://www.ris.ac.jp/eq.html>をご覧ください。

入学・受講最新情報